

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
J202	都市社会学	2年	講義	2	小浜駿
授業概要 都市の定義は非常に多くあるが、決定版と言える定義を決めることは難しい。簡単そうで難しい「都市というもの」を捉えるうえで必要な理論や視点を学ぶ。また、都市(郊外)と関連の深い諸現象について説明する。目に見えず、言葉でも捉えにくい「都市というもの」に潜む問題や魅力について社会学的に解説する。					
到達目標(学習の成果) 到達目標 都市社会学の成立背景や基礎理論を理解したうえで、自らの居住地における問題と解決方法について考察できるようになる(DP3)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	講義契約と都市社会学の概要	本講義の概要を述べ、評価方法や注意事項などについて説明する。その後、都市社会学における主な着眼点や考え方について概説する。			
2	都市とは何か その1	都市とは何か、という問いについて考える材料を講義によって提供し、その後簡単なグループディスカッションを行う。			
3	都市とは何か その2	第2回のディスカッションを総括し、都市の代表的な定義を紹介する。その後、社会調査の結果をもとに都市のイメージについて紹介し、専門家による定義と対比する。			
4	都市の定義	日本の市制施行基準や国連の都市の基準について紹介し、人口のような客観的な都市の定義が我々の実感とずれることを紹介していく。			
5	都市の理論①	ウェーバーの比較都市類型論や都鄙論など、古典的な都市論について紹介する。			
6	都市の理論②	シカゴの発展史について概説した後、人間生態学や同心円地帯理論について説明する。また、これらの理論の問題点について解説する。			
7	都市の理論③	ワースのアーバニズム論と、それに対する批判について解説する。その後、フィッシャーの下位文化理論について解説する。			
8	都市と対人関係①	同類結合を中心に、フィッシャーの下位文化理論によって説明される都市の具体的な対人関係の特徴を明らかにする。			
9	都市と対人関係②	日本国内の対人現象に着目し、フィッシャーの限界と貢献について考察する			
10	都市と労働	労働生産性、ワークライフバランス、ジェンダーなどの観点から都市における労働の特徴を解説し、都市の性質について考察する。			
11	郊外とヤンキー文化①	原田曜平著『ヤンキー経済』を基に、現代郊外で生じている社会学的現象について紹介していく。			
12	郊外とヤンキー文化②	『ヤンキー経済』で述べられた現象に対して、都市社会学の観点から批判的、専門的に再考する。			
13	郊外論	都市の周辺領域(外縁部)である郊外について焦点を当てながら、都市の構造について解説する。			
14	都市の衰退と再生	約50年の人口移動から、都市の衰退と再生の過程について解説した後、今後の都市に求められる対人関係のあり方について説明する。			
15	県民イメージ	栃木県を中心に、「県民性」「県のブランド」など、ステレオタイプ化された都市のイメージについて具体的に考察する。			

準備学修(授業外の自己学修)

都市社会学的な視点を養うために、様々な“気づき”を大切にしてほしい。自己の中に“気づき”がなければどんな理論も意味を持たない。そのために、自分の住んでいるところは都市なのか自問することを求める。都市であれば、いわゆる郊外に行ってみてほしい。逆に郊外に住んでいるのであれば、都市に行ってみてほしい。その結果、都市と郊外がどう違うか、自分なりの意見を持ったうえで講義に臨んでほしい。

成績評価の方法・基準(%表記)

講義中に5回ほど30分の小課題をやってもらう。課題の参加率(80%)と講義への積極性(20%)をもとに評価する。

観点	S	A	B	C
居住地の問題解決のための考察	質的に十分であり、かつ網羅的である	十分に述べられる	一定程度述べられる	最低限述べられる

教科書

使用しない。毎回授業資料を配布する。

参考書等

『よくわかる都市社会学』(中筋直哉・五十嵐泰正編著 ミネルヴァ書房 平成25年 2,800円)

『ヤンキー経済 消費の主役・新保守層の正体』(原田曜平著 平成26年 842円)

履修上の注意・学修支援

都市, 田舎(農村), 郊外へバランスよくかけてほしい。都市とは何か, 郊外とは何か, 正確にわからなくても構わない。実感と講義中の知識がリンクしたとき, 重要な気づきが生まれるはずである。